

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	25389	
事業名	災害医療体制整備費						
評価担当課	所属名	保)保健所 医療政策課					
	課長名	高田 誉之	担当者名	虎谷 将希	電話番号	011-622-5162	
施策名	主	災害に備えた地域防災体制づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	災害医療体制を強化するため				
		長期	安心を支える医療システムを構築するため				
	取組内容	① 災害医療体制整備業務 災害時に円滑な医療救護活動を実施するための訓練を行うとともに、関係機関との連携を図るため、情報共有を行う連絡協議会を開催する。 ② 災害時医療研修等事業費補助 ③ 災害時一斉連絡システムの維持・管理費補助 ④ 医療機関に対する非常用電源設備の設置等補助 ⑤ 衛星携帯電話の配備、維持管理					
実施結果	②災害時医療救護活動研修等対策に対する補助 ③災害時緊急連絡システムの改修及び保守に対する補助 ④補助制度により非常用電源設備を設置した医療機関 40件 (病院12件、有床診療所2件、無床診療所26件) ⑤札幌市災害時基幹病院等における衛星携帯電話の維持及び外部アンテナの設置						
事業実施における工夫点	④市内医療機関に対し、制度の周知や補助金活用意向調査を実施						
対象者	市民、医療関係機関			開始	平成31年度	終了	令和4年度
関連法令・条例・要綱等	災害対策基本法、札幌市地域防災計画に基づく災害時医療救護活動に係る協定書及び協定実施細目書						
他都市の状況	横浜市では、医療機関のほか、地元町内会や警察など多数の機関と合同で災害医療訓練を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

		令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費		82,784	173,000	97,095	5,800
うち特定財源		0	0	0	0
人工		0.9	0.9	0.9	0.9
人件費		6,480	6,480	6,480	6,480
計(事業費+人件費)		89,264	179,480	103,575	12,280
事業費の内訳	令和3年度決算	②医療救護活動研修費2,290千円 ③災害時緊急連絡体制システム保守費600千円 ④非常用電源設置等補助金69,878千円 ⑤衛星携帯電話の維持管理及び外部アンテナの設置等24,213千円 その他114千円			
	令和4年度予算	①基幹病院等連絡協議会委員謝礼205千円 ②医療救護活動研修費2,290千円 ③災害時緊急連絡体制システム保守費600千円 ⑤衛星携帯電話の維持管理2,705千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	非常用電源設備設置の補助制度を活用した施設数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	22施設	36施設	40施設	-	
活動指標2	指標名	災害医療救護活動訓練の実施			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	0回	1回	0回	1回	
成果指標1	指標名	災害時基幹病院にけるBCP策定率			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	不明	80%	81%	100%	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	令和3年度における非常用電源設備設置の補助制度を活用した施設数は、令和2年度(22件)から18件増加し(40件)、結果として市内188施設において停電時にも対応可能な医療体制を構築した。 また、厚生労働省が実施するBCP策定研修について、積極的に医療機関へ案内したことにより、策定率向上に繋がったものとする。 なお、災害訓練及び災害時基幹病院との連絡協議会等の会議については、新型コロナウイルスの影響を受ける医療機関への負担を考慮し、実施を見送った。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	非常用電源設置・衛星携帯電話に係る補助については、医療機関から一定の需要があったことから、基準額、補助率対象区分の設定は妥当であったと考える。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	非常用電源及び衛星携帯電話等は、災害発生時という限られた状況でのみ使用する機器であるため、行政からの財政的支援がなければ、普及しにくい性質のものであることから、補助金の交付は、手法として妥当であると考える。			
対象者の満足度 (対象者のニーズにしているか)	A	災害医療体制の強化を図るために、医師会や多数の医療機関等が各種補助金制度を活用しているため、一定の需要に応えることができたとする。 なお、訓練及び会議については、医療機関等からの要望もあることから、R4年度は実施する見込みである。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時基幹病院連絡協議会について開催できていないため、開催する必要がある。</li> <li>・市内災害時基幹病院等に衛星携帯電話・非常用電源を配備したため、有事の際に使用できるよう定期的に訓練等を実施する必要がある。</li> </ul>				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、広域災害救急医療情報システム(EMIS)入力研修や災害時基幹病院連絡協議会は実施できなかったが、非常用電源設置等補助金を活用した医療機関は増加し、災害時基幹病院等において衛星携帯電話を配備したため。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止</li> <li>・在宅酸素患者のための酸素供給拠点(HOTs)の整備及び透析医療機関等の災害時連携体制の構築する</li> <li>・各医療機関に衛星携帯電話及び非常用電源を配備・設置したことを踏まえ、設置した機器類を使用した訓練を実施する</li> </ul>			
	予算	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 拡充    ○ 現状維持    ○ 縮小    ○ その他</li> <li>災害時におけるHOTs及び透析医療体制の整備に向け、調査・検討会を実施する必要がある。</li> </ul>		見直し効果額	0